

2009 年

1. 研究計画の立て方とデータベースへの登録について（寺元 剛）倫理 FD 講習会 松本 2009.2
 2. 「ダーモスコピーの原理と良性の色素性皮膚病変」（古賀弘志）第 34 回日本外科系連合学会学術集会 シンポジウム 東京 2009.6
 3. 「がん薬物療法による皮膚障害」（松本和彦）第 9 回東北臨床腫瘍セミナー 教育講演 仙台 2009.6
 4. 定期的にダーモスコピー撮影を行っている小児足底母斑の 2 例（古賀弘志）ダーモスコピー研究会 東京 2009.7
 5. 新規治験立ち上げ期間の短縮を可能にする「治験概要事前情報提供書」の今後のあり方（上條のぞみ）第 9 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 横浜 2009.9
 6. e 文書法準拠した電子カルテ導入に伴う直接閲覧に関する治験依頼者への意識調査（竹内理恵）第 9 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 横浜 2009.9
 7. 「治験実施プロセス向上のために」IRB 事前ヒアリング実施の意義と効率化（寺元 剛）第 9 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 シンポジウム 横浜 2009.9
 8. Clinical and dermoscopic investigation of pigmented nodular lesions in Japanese populations（共同演者 古賀弘志）2009 International Congress of Dermoscopy バルセロナ 2009.11
 9. 臨床研究倫理指針改正に伴う臨床研究の実施及び審査体制の検討と今後の展望（寺元 剛）第 30 回臨床薬理学会年会 横浜 2009.12
 10. 大学病院臨床試験アライアンスの 3 年間の取り組みと今後の課題（共同演者 松本和彦、寺元 剛）第 30 回臨床薬理学会年会 横浜 2009.12
-

2008 年

1. 治験受託における各診療科、臨床部門との支援連絡に関する現状と問題点（寺元 剛）治験事務局セミナー 東京 2008.1
 2. 治験概要事前情報提供書"は新規治験の立ち上げをスムーズにする（上條のぞみ）第 8 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 横浜 2008.10
-

2007 年

1. 治験実施に伴う治験依頼者による直接閲覧時の電子カルテ端末利用体制の構築（寺元 剛）平成 18 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議 松本 2007
 2. 信州大学医学部附属病院における CRC の業務拡大について ～トランスレーショナルリサーチコーディネーター～（宮下 円）第 7 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 横浜 2007
-

2006 年

1. 抗体付きマグネトリポソームを使用するメラノーマの温熱免疫療法の開発－ヒトメラノーマ移植マウスを用いた検討－（松本和彦）第 65 回日本癌学会学術総会 横浜 2006
 2. 抗体付きマグネトリポソームを使用するメラノーマの温熱免疫療法の開発－ヒトメラノーマ移植マウスを用いた検討－（松本和彦）平成 18 年度厚生労働省がん研究助成金班会議（斎田班）東京 2006
 3. 遺伝子治療と Heat Immunotherapy（シンポジウム 悪性黒色腫 新しい治療の可能性）（松本和彦）第 57 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 名古屋 2006
 4. セキュリティを確保した電子カルテ端末上からの直接閲覧の実施（寺元 剛）第 27 回日本臨床薬理学会年会 東京 2006
-

2005 年

1. 治験実施の効率化を目的とした松本地域医療機関の連携と情報の一元化によるネットワークの構築（寺元 剛）第 15 回日本医療薬学会年会 岡山 2005
2. 治験ネットワーク ALPS（松本和彦）松本市医師会生涯教育講座特別講演 松本 2005
3. Cationic liposome-mediated human interferon- β gene therapy for patients with advanced melanoma (Matsumoto K) 第 11 回日本遺伝子治療学会年会 東京 2005